

Discover Chiba

千葉が誇る

日本一



第20回

水郷佐原水生植物園

《今回の日本一》

- ・ハナショウブの品種と数
- ・ハスの品種





約6haの園内に400品種、150万本の花の競演。 ハナショウブの品種と数は東洋一!

香取市にある水郷佐原水生植物園は、水郷筑波
国定公園内にあり、水と緑を生かした観光レクリ
エーション施設です。園内約6ha*には400品種・
150万本のハナショウブ(花菖蒲)が植えられて
いて、その数は東洋一を誇っています。水生植物園
一帯は利根川の河川改修によってできた洲を開拓
した地域で、16の集落が作られたことから通称「十
六島」と呼ばれています。点在する池と池から水路
が縦横に延びている水郷地帯のため、交通手段や
農作業にも舟が使われていました。昭和30年代

後半(1960年代)に農作業の利便性を図るため
に、土地改良が行われる中、時代とともに失われて
しまう水郷の景観を残そうと、水郷筑波国定公園
内の一角約5haに水郷の趣きを楽しめる水生植物
園が計画され、昭和44年(1969年)に開園しまし
た。ハナショウブは花の少ない梅雨の時期に咲き、
水辺に彩りを添えてくれる日本を代表する園芸
植物。水郷佐原水生植物園には、東洋一を誇るハ
ナショウブの開花を楽しもうと毎年ゴールデン
ウィーク以降には大勢の人々が訪れます。

※1ha=10,000㎡〔QVCマリンフィールド建築面積:14,938㎡(約1.5ha)〕……6haは、QVCマリンフィールド 約4個分の広さです。

どれがアヤメ・カキツバタ・ハナショウブ!? その違いを見つけるのは、昔から難しかったようです。

ハナショウブはアヤメ科アイリス属の植物で、
日本や韓国、中国東北部からシベリアなどの東
アジアに分布しています。一般にアヤメやショウ
ブ(菖蒲)と呼ばれますが、端午の節句の菖蒲湯
に使われる植物はサトイモ科の植物で、ハナショ
ウブとは違います。

「いずれアヤメ(菖蒲)かカキツバタ(杜若)」と
いうことわざがありますが、それは美しい女性ば
かりいて区別がつかない様子を表現していま
す。実際にアヤメ、カキツバタ、ハナショウブはよ
く似ていますが、花びらや葉っぱ、栽培できる場
所、開花の時期などで区別されています。

	アヤメ	カキツバタ	ハナショウブ
花びらと葉の形状	外側の花びらの付け根の 部分に網目模様 葉の中心の 脈は目立た ない	外側の花びらの付け根の 部分は淡黄色 葉の中心の 脈は目立た ない	外側の花びらの付け根の 部分は黄色 葉の中心の 脈は隆起 している
栽培池	乾燥地(畑地)	日当たりの良い湿地(畑地)	湿地で陽光を好む
開花期	5月上旬～	5月中旬頃	5月下旬～
	(香取市を基準とした開花時期です)		

●園内には、ハナショウブ:150万本(400種)、アヤメ:3万本
(20種)、カキツバタ:7万本(5種)が植えられています。

当園のハナショウブは品種ごとに名札を付け
見やすい展示をしています。
好みの品種を見つけてお楽しみください。



水郷佐原水生植物園
園長 篠塚 量正 さん

水郷佐原水生植物園は、国定公園の特色を生かし、水郷地帯という豊かな水辺の景観と魅力
を後世に伝える公園施設として誕生しました。東
洋一の品種の多さを誇る当園のハナショウブ
ですが、その栽培は約800年前の鎌倉時代に
始まり、室町時代から江戸時代初期に品種が成
立し、その数は4,000種とも5,000種ともいわ
れています。

園内にある約1.5haの栽培池に、150万本植
えられているハナショウブを守るため、エリアを3
つに分け、3年に1度50万本づつ抜き取って株
分けをしています。この植え替え作業は、開花終了後の7月から常時15名ほど
の経験豊かな作業員によって繰り返し行い、
皆さまに愛される水生植物園の管理を行って
います。また当園は2011年の東日本大震災
の被害も甚大でしたが、その後ていねいな修
復作業を続け、現在約6haの敷地の拡張工事
が完成すると、総面積が約8haに拡大するこ
とになります。美しい水生植物の魅力をもく
の皆さまに知っていただきたいですね。



▲園内のハナショウブには、木製の名札
に系統と名称が記されています。

300品種以上の花ハスを栽培している水郷佐原水生植物園は、 ハスの品種の多さでも日本一!

水生植物園では、昭和56年(1981年)までに10品種のハスを栽培していましたが、平成
4年(1992年)、中国南京市からハナショウブ栽培の技術研修生2名を受け入れた時、中国
から持参したハスの種子90種をお土産にもらいました。さらに平成5年(1993年)には同じ
く南京市から70種が贈呈され、年々ハスの栽培品種も増えていきました。

現在では、園内の日中友好ハス園には、とても
珍しい千弁蓮(せんべんれん)など、日本では見られない
貴重なハスを含め、300種以上が栽培されるよう
になっています。7月から8月には、白や紅、ピンク、
黄色など美しいハスの花が次々と開花し、その品
種の多さは日本一になりました。



▲優雅に咲き誇る早朝の蓮栽培池のハス(7月上旬から8月中旬頃)



▲数千枚の花弁を持つ
「千弁蓮」(せんべんれん)



▲大賀ハスとの交配種
「舞妃蓮」(まいひれん)



▲薔薇の花のようにも見える
「東方紅」(とうほうこう)



▲日々花の色が変化する
「嬌容三変」(きょうようさんぺん)



▲「佐原の観光と祭り写真コンクール(観光の部)」
入賞作品

今年も初夏を彩ります!

水郷佐原 あやめ祭り

400品種150万本という東洋一の規模を誇るハナショ
ウブが、今年も艶やかに咲く季節がやってきます。園内の
水路を「さっぱ舟」と呼ばれる小舟で周遊できるのは、全国
でもここ、水郷佐原水生植物園だけの楽しみです。爽やか
な初夏の風物詩を満喫してみませんか。

●開催期間／5月31日(土)～6月29日(日)

●開園時間／午前8時～午後6時30分

水郷佐原水生植物園

香取市扇島1837-2 TEL.0478-56-0411



水郷地域の伝統的な婚礼の風習。

あやめ祭りで「嫁入り舟」を再現!



「あやめ祭り」期間中に再現されます。「嫁入り舟」で
挙式するのは、抽選で選ばれた3組のカップル。祭り
開催中の3日間に1日1組、和装で舟に乗り、香取神
宮の宮司さんと巫女さんの元で挙式を行います。

ハナショウブの咲く水路を行く雅な「嫁入り舟」は
一般公開されます。白無垢の花嫁さんと紋付袴の花
婿さんを乗せてゆっくり水面を行く小舟は、趣きある
風景です。

昭和30年代ごろ
まで実際に水郷地
帯で行われていた
「嫁入り舟」が今年も



●嫁入り舟公開日／6月7日(土)・15日(日)・22日(日)

●時 間／午前10時30分から約1時間



貴重な品種に出会えるチャンスです!

夏の涼を呼ぶ「はす祭り」



栽培しているハスの品種が300種以上というのは日本一ですが、ハスの本場・中国でもこれだけの種類を展示している施設はありません。

世界最古の大賀ハスをはじめ、舞妃蓮、南京から贈られた中国種などが一堂に開花します。凛とした美しさを放つハスの花を撮ろうと多くのカメラマンが毎年訪れる人気のイベント。昼間には閉じていくハスの花を、涼しい朝のうちにご覧いただける「早朝観蓮会」も開催します。

- 開催期間／7月12日(土)～8月10日(日)
- 早朝観蓮会／開催期間中の土・日・祝日 午前6時開園
- 象鼻杯・ハス茶のもてなし／開催期間中の土・日・祝日 午前8時～午前10時
- 熱帯睡蓮展／7月12日(土)～8月31日(日)
- お問い合わせ／水郷佐原水生植物園
香取市扇島1837-2 TEL.0478-56-0411



園内には、ハスの花と同じ時期に咲く睡蓮の花も見頃です。30種5,000株の花時は長く、5月上旬から10月下旬まで楽しむことができます。

香取市で見つけた人気のグルメ&お土産

◎じか重・きも吸つき(上)
.....¥3,700(税込)



江戸中期創業の佐原の老舗鰻店。紀州備長炭でじっくりと焼いたうなぎは、しっかりめの濃いタレが香ばしく、フワフワの食感。開店直後か午後1時30分以降が混雑回避の狙い目。

- 問い合わせ／山田うなぎ店
TEL.0478-52-4375
香取市佐原イ457
営業時間／午前11時～午後3時
午後 5時～午後8時
定休日／月曜日(祝日の場合翌日休)

◎すずめ焼 詰め合わせ
.....¥1,150(税込)



小鮒を背開きにし竹串に刺し、タレを付けて焼いたものを、殿様が「これは雀を焼いたのか?」と聞かれたことがすずめ焼の名がついた始まりとか。エビやタナゴ、モロコなど秘伝のタレの味付けがご飯と相性よし。

- 問い合わせ／すずめ焼 兆
TEL.0120-52-3571
香取市佐原イ460
営業時間／午前8時～午後7時
定休日／なし

◎ほし娘(干し芋)
1袋(250g).....¥550(税込)



香取市はさつまいもの産地。ちばエコ農産物認定のさつまいも「紅はるか」の甘みが生きた干し芋は、そのままでも、また軽くトースターで焼いていただいても味わい格別。

- 問い合わせ／道の駅 水の郷さわら
TEL.0478-50-1183
香取市佐原イ3981番地2
営業時間／4月～9月 午前9時～午後7時
10月～3月 午前9時～午後6時
休館日／年末無休・施設点検日等を除く



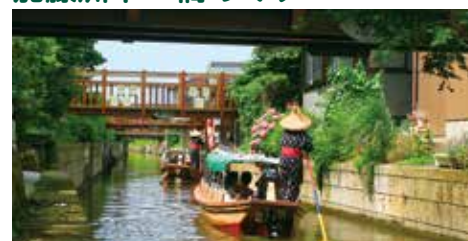
知ってる? 知らない?

●香取市周辺
インフォメーション!



近隣の立ち寄りしたいスポット!

かとうずじゅうにきょう
加藤洲十二橋めぐり



水郷筑波国定公園の中に位置する香取市には、利根川と常陸利根川にはさまれた広大な一角に家と家や田んぼの間を縦横に張り巡らされた水路があり、この間を舟で行き来していました。その中でも加藤洲の水路には一枚板の簡単な橋が12架かっていたことから「十二橋」と呼ばれていました。今も残る橋の下を女船頭さんが操るさつぽ舟で周遊することができます。

- 所要時間／加藤洲往復で約50分
- 料 金／1隻5人まで6,500円(税込)、5人を超える場合は1人1,300円(税込)
- 場 所／香取市加藤洲地先
- 問い合わせ／香取市商工観光課
TEL.0478-50-1212

よことねこうもん
横利根閘門ふれあい公園



横利根閘門は、利根川と横利根川の合流部に造られたレンガ造りの複式閘門です。大正10年(1921年)に完成したもので、国の重要文化財に指定されていますが、今もなお現役で役割を果たしています。千葉県と茨城県の県境にあり、緑地を生かした「西洋庭園」や「水辺広場」などがあり水郷地帯の美しい眺望を360度で満喫できる穴場の公園です。

- 場 所／香取市佐原二地先・駐車場50台あり(無料)
- 問い合わせ／香取市商工観光課
TEL.0478-50-1212

取材協力・写真提供・撮影協力／水郷佐原水生植物園 香取市経済環境部商工観光課 山田うなぎ店 有限会社 兆 道の駅 水の郷さわら

2014.5(次回発行／2014年6月23日)



ホームページでバックナンバーもご覧いただけます。

京葉銀行 千葉の日本一 検索



この冊子の印刷には、
環境に配慮した植物性インキを
使用しています。